

地域課題・目指す将来像

地域課題

- 水産業は地域資源を有しながらも、漁獲量の減少、魚価の低迷、燃油・資材高騰による経営圧迫、漁業従事者の高齢化・後継者不足が重なり、産地の持続性と水産物の安定供給の確保が課題である。
- 観光業は、観光客の増加が進む一方で、来訪者を受け止めて周遊・滞在・消費へつなげる受入機能や、移動（航路等を含む）、体験・飲食の情報が一体的に分かりやすく届く仕組みの強化が課題となっている。結果として、観光の魅力が十分に消費行動へ波及しない、あるいは混雑・分散不足等により体験価値が下がる懸念がある。

将来像

- デジタルマップでの情報の見える化により持続可能な水産業を確立する。
- 地産地消を推進し、地魚の価値の向上により漁業者の所得向上を図る。

推進体制

名称：尾道市未来技術地域実装協議会

地方公共団体	尾道市
国（★は現地支援責任者）	★内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 デジタル庁 国民向けサービスグループ 国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課 水産庁 加工流通課 認証推進班 漁場資源課 増殖推進部 栽培養殖課
民間事業者	尾道市水産振興協議会

課題解決に向けた取組

①地先資源増加対策【IoT】

- ・ 水揚げ状況などが見える化（漁獲状況、栽培漁業の効果検証）することで、より効果的な栽培漁業を推進していくとともに、需要に応じた養殖事業の展開により、水産物の安定供給を目指す。



放流事業の効果調査の試験操業の様子

②魚の出荷情報のリアルタイム共有【IoT】

- ・ 市場や地魚を取り扱う店舗などで、デジタルマッピングを活用し、リアルタイムに出荷情報やグルメ情報を広く市民・観光客に向け発信することで地魚の消費拡大を目指す。



尾道デジタルマップ